

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市中区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp
Eメール info@jaichi.jp
TEL(052)916-2251
FAX(052)916-2308

2018.2.10
No. 1173

発行責任者 林 達也 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

原発ゼロNAGOYA
ACTION

日時 3月11日(日)12:00～
場所 名古屋市内第2号栄公園

生活体験スタート

平野書記次長の講演後、グループごとに討論する参加者

＝1月30日



1月30日のスタート集

会では、自治労連愛知県本部書記次長・平野正一氏が講演。自身の体験も踏まえ愛知県の最低賃金額の変遷や日本以外の先進諸国との比較しながら、現在の最低賃金がいかに低水準であるかを説明しました。

「最低賃金の運動は正規も非正規も関係ない。また地域ごとに異なるはずもなく、全国どこでも約1300円は必要です」と最賃体験の意義を

現行最低賃金の「生活体験」が2月1日から始まりました。期間は2月の1か月。生活体験の目的は、最低賃金がいかに低いかを告発し、最低賃金引き上げをめざすものです。

訴えました。

愛労連から、今回の生活体験について「現状の最低賃金では病気にもなれず、自立して暮らすためには低すぎることは明らか。検証もなく最低賃金額を決定している労働局や愛知地方最低賃金審議会に、みなさんの体験結果を提出し、最賃の大幅引き上げが必要である根拠を示したい」とその目的を説明しました。

また「今回から体験者などでLINEグループ

最低賃金

病気にもなれないこんな低額で暮らせるのか
実態を知らせ、発信しよう

で外へ発信しよう」と強調しました。署名については、これまでにない規模で取り組みと呼びかけました。

を作り、感想や出来事を交流する場を設け、特徴的なことなどは愛労連のFacebookやTwitterなど、SNS

講演・問題提起のあと、グループに分かれて討論。「最低賃金引き上げの運動を広げるためには自分自身が体験してその意義を伝えていかなければと思います。今回は多くの若い保育士の仲間が参加しますので交流し、支え合いながら最後までやり遂げたいです」(福祉保育労の仲間)などの発言がありました。



土岐旭宏さん

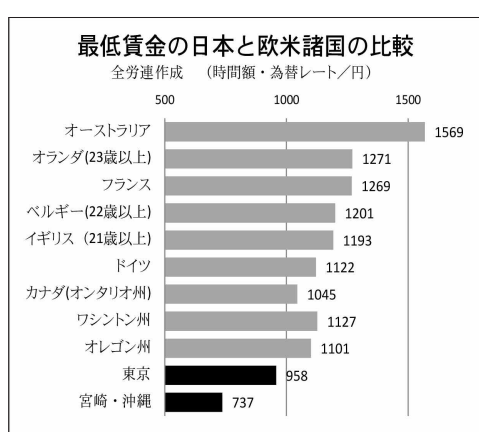
スタート集会に参加した春日井市職労・土岐旭宏さんは次のように決意を語りました。

◇ ◇ ◇

「過去2回、生活体験をしています。切り詰めても設定額を超えてしまふ。今回は設定額内に収めるように意識して、現行最賃では「健康で文

化的な生活 が送れないことや体験を通して感じたこと、発見したことを広げて、この運動を繋げていきたい。」

世界に遅れる日本の最低賃金
国際的に最低賃金をみると、最も高いのはオーストラリアで、1569円。アメリカの各州の最低賃金を含め、1000円以上が当たり前になっています。



国際比較でみると、いかに日本の最低賃金が低く、格差が大きいかわかります。「ただちに1000円、当面1500円」という要求は、極めて正当な要求なのです

「賃上げ」主張するが、過労死促進・残業代ゼロ法案成立を強調

2018年日本経団連「経労委報告」

日本経団連は1月16日、18春闘に向けて「2018年版経労委報告」を公表しました。

賃上げについては社会的な要請を受け、「賃上げのモメンタム(勢い)の一層の強化に努める」としながら、連合の「2%」要求については「ハードルが高い」と拒否しています。

果たしてどの程度の賃上げとなるかは文字どおり労働者・労働組合のたたかいにかかっています。さらに「報告」は、「働き方改革と労働生産性のさ

らなる向上」をかかげ、「雇用によらない多様な働き方や労働時間によらない働き方への転換」を求めています。

労働時間、非正規雇用、最低賃金の3課題では、政府が提出しようとしている「過労死促進法・残業代ゼロ法案」の成立と求めるとともに、非正規という呼称を「パート・有期・派遣労働者(社員)」に言い換え、安倍政権の「非正規をなくす」という政策に逆らうという姑息な姿勢を際立たせています。

今春闘において賃上げとともに、重要な課題は通常国会提出予定の「働き方一括法案」のねらいとその危険性を学び、労働法制的規制緩和に反対する大きな運動と世論を早急に高めることです。

「報告」は、内部留保(ため込み)に対する批判の高まりのなかで「利益剰余金を過剰に増やす事のないよう」となど、賃上げ要請に応えるかのようなポーズを取っていますが、実態はさらに富の収奪の仕組みを強める宣言となっているのです。

「言いたい劇場」 小菅りや子



第19回社会保障学校



117人が参加した社会保障学校 = 2月3日

●高齢者(65歳以上)の貧困率
19.4% ⇒高齢者の5人に1人は貧困
OECD加盟国(34カ国)中4番目に高い
さらに
単身高齢男性は**38.3%**が貧困
単身高齢女性は**52.3%**
高齢期は誰もが貧困に陥る可能性

「下流老人」誰もが陥る可能性 安定した雇用 年金制度拡充が必要



講演する藤田孝典さん

藤田氏は「下流老人」の意味を「あらゆるセーフティネットを失った状態であり、一度陥ると自力での解決は困難な高齢者であると指摘しました。」

年金・無年金者。全体の6〜7割の高齢者が月10万円未満の年金しかもらえていない。単身高齢者の1か月平均支出は約14万円。仮に10万円の年金だと1月4万円程度を貯

金を取り崩すか、働いて得るしかない」と、低い年金制度を批判しました。年金給付は毎年下がっているのに、消費支出は増え、可処分所得は減少。ますます高齢者の生活は困難になっているのが実態です。

非正規・低賃金 若者の雇用改善を

また藤田氏は、仮に65歳時点で300万円の貯蓄があってもわずか4年で底をつくことになることも明らかにしました。

さらに、現在非正規率が40%を超えている点に

触れ、「非正規雇用は下流老人に直結する」として、雇用の安定化が必要と指摘しました。

藤田氏は「下流老人をなくすには政策の転換とともに、高齢者を孤立させない、地域での支援活動などのとりくみが必要だと強調しました。」

海部環境労組組合費返還裁判

1月23日、名古屋地裁で海部地区環境労働組合に対する自治労・津島市職による組合費返還の訴えの判決が下されまし

た。判決は津島市職の訴えを退け、海部環境労組が組織として実態を有し

ているとして、その財産は事務組合構成員のものだと断定しました。

津島市職は「支部廃止を決定したなどとして交付金として支出した組

組織として実態があり、返却義務はないと断定



判決後対応を検討する海部環境労組の役員と弁護士、支援者=1月23日、地裁で

海部環境労組は、津島市職の支部として活動してきました。しかし津島市職はこの支部をつぶそうと一方的に廃止を主張。組合員の意向を無視して組織破壊攻撃をしてきました。海部環境労組が毅然と組織を守るたたかい、その中で今回の判決となったのです。

合費の返還を求めましたが、その主張はことごとく排除され、預金、残金についても海部環境労組組合員が支払った組合費であり、返却の義務はないと断定しました。



37人が参加した西三河保育士セミナー

第一部はバルーンアート講師に詳しく教えてもらったりしながら、風船と格闘作品ができあがると近くの人の「見てー!」という声にそうに自慢し合っていました。

第二部は各市町の園の状況報告、見よう見まねでやってみたい、講師に詳しく教えてもらったりしながら、風船と格闘作品ができあがると近くの人の「見てー!」という声にそうに自慢し合っていました。

バルーンアートで交流 多くの新人含め37人が参加

1月27日、西尾市総合福祉センターで保育士・幼稚園教諭のためのセミナーを開催し、西尾、碧南、幸田の組合員37人が集まり、賑やかな学習会となりました。

トの講習会。クラウンC B&Bさんを講師に招き、花と金魚の作り方を教わりました。

本格的なバルーンアートは初めてという人も多く、割れたらどうしようとし不安になりつつも、見よう見まねでやってみたい、講師に詳しく教えてもらったりしながら、風船と格闘作品ができあがると近くの人の「見てー!」という声にそうに自慢し合っていました。

仲間の声

☆先日、家族で竹島水族館に行ってきました。小さな水族館ですが様々な工夫がしてあり、とても楽しむことができました。海の生き物に実際触れたり、間近で見ることができたので、子どもも喜んでいました(廣瀬直子・長入手市職労)。

☆8時まで開いている保育園です。延長保育担当保育士が恒常的に不足しています(齋藤美奈恵・幸田町職労)。

③ 3000万人署名推進

相次ぐ米軍機による落下物事故、爆音とともに深夜の超低空飛行、辺野古新基地の建設強行...

安倍首相は「沖縄の人に寄り添う」などと言いますが、通常国会冒頭、山下内閣府副大臣が沖縄問題をとり上げた日本共産党・志位委員長

沖縄に、日本国憲法は存在しないのか!?

平和で、静かな暮らしこそ沖縄の人たちの願いです。基地がないと日本の平和は守れない、という人がいます。しかし逆に、基地があるからこそ、日々の暮らしが脅かされているのです。